

2021年7月6日

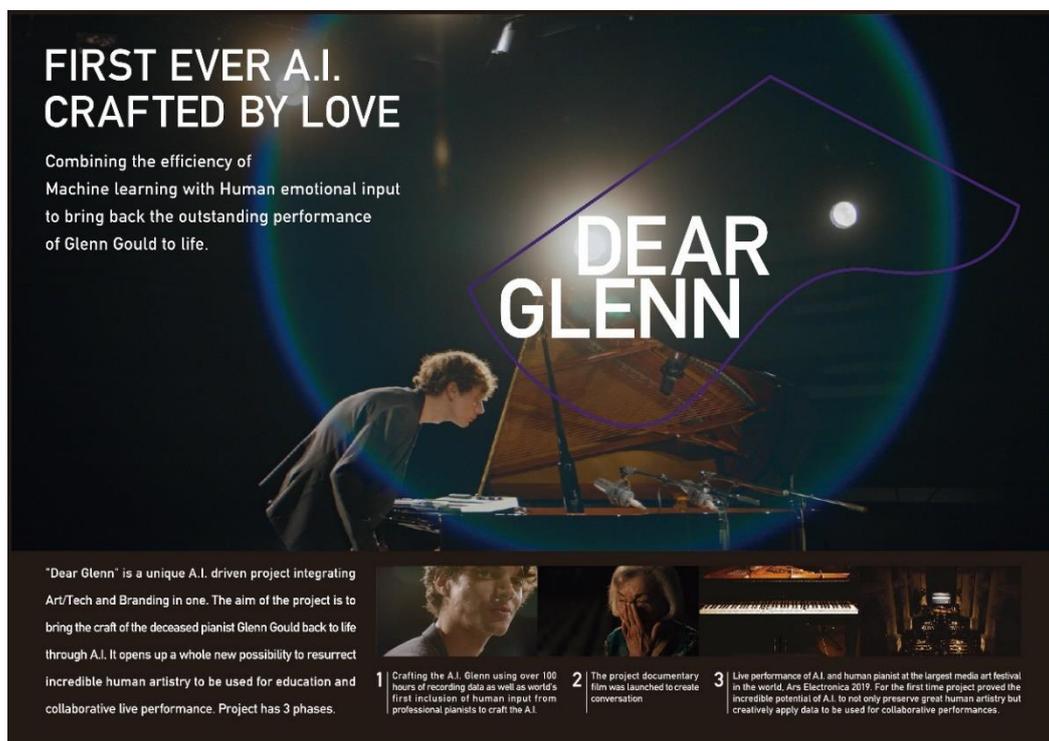
AI と人間の共創を追求するプロジェクト『Dear Glenn』が 世界最大の広告祭「カンヌライオンズ」にて「シルバー」を受賞

～ 当社施策の受賞は今回が初 ～

ヤマハ株式会社（以下、当社）が、AI（人工知能）と人間の共創を追求するため取り組んだプロジェクト『Dear Glenn』が、2021年6月21日（月）～25日（金）にオンラインで開催された世界最大規模の広告・クリエイティビティの祭典「カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル（Cannes Lions International Festival of Creativity）」（以下、カンヌライオンズ）において、「エンターテインメントライオンズ・フォー・ミュージック（Entertainment Lions For Music）」部門の「シルバー」を受賞しました。

「カンヌライオンズ」は、1954年に創設され、各国の広告・コミュニケーション関連のアワードやフェスティバルの中でもエントリー数・来場者数ともに最大規模を誇る、国際的な広告賞です。昨年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったため、今年の「カンヌライオンズ」では、2020年度、2021年度の2年分のエントリーを対象に審査が行われました。全28部門に90の国と地域から29,074点のエントリーが集まり、「エンターテインメントライオンズ・フォー・ミュージック」部門においては407点の中から18の受賞作品が選出されました。

なお、「カンヌライオンズ」における当社施策の受賞は、今回が初となります。



『Dear Glenn』カンヌライオンズ エントリーボード

・『Dear Glenn』公式サイト：https://www.yamaha.com/ja/about/ai/dear_glenn/

※公式サイトでドキュメンタリーフィルムをご覧ください。

● 『Dear Glenn』 について

当社が取り組む、AI と人間の共創の可能性を追求するためのプロジェクトです。プロジェクト名の『Dear Glenn』は、新しいテクノロジーに見出したグレン・グールドの姿勢に敬意を評し、着想を得たことに由来します。

「AI は、どこまで人の心を動かせるのだろうか。」という問いかけをテーマに掲げた本プロジェクトでは、伝説的なピアニストとして知られる故グレン・グールドらしい音楽表現でピアノを演奏でき、さらに人間と協調して合奏することができる AI 搭載のピアノ演奏システムを開発し、その様子をドキュメンタリーフィルムに収めました。さらに、2019 年 9 月 7 日にオーストリア・リンツ市で開催された世界最大規模のメディアアートの祭典「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」において同 AI システムを初公開し、AI システムによるピアノ独奏や現代の名演奏家との協奏を披露しました。

当社は、本プロジェクトを通して、現代のテクノロジーである AI と人間が互いに刺激し合い、共創する新しい音楽表現のあり方を提示したいと考えています。



(c) vog. photo



(c) vog. photo



(c) vog. photo

「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」にて開催された演奏会で AI システムによるピアノ独奏、演奏家と合奏を披露

● 『Dear Glenn』 制作体制

- ・制作：株式会社電通、株式会社エンジンフィルム、Mt. MELVIL、Digital Makers Lab.、IBM、IBM iX
- ・クライアント：ヤマハ株式会社

▼参考：これまでのヤマハの AI に関する主な取り組み

- ・故リヒテルのタッチを再現し、AI 合奏システムでベルリン・フィルメンバーとの共演を披露：
https://www.yamaha.com/ja/news_release/2016/16090701/
- ・AI が人間とのピアノ連弾・管楽器アンサンブルに挑戦：
https://www.yamaha.com/ja/news_release/2017/17121201/
- ・AI テクノロジーでダンサーをピアニストに：
https://www.yamaha.com/ja/news_release/2017/17122601/
- ・人と楽器をつなぎ合奏の楽しさを引き出す AI 技術を搭載した体験型インスタレーションを「SXSW」で披露：
https://www.yamaha.com/ja/news_release/2018/18030101/
- ・グレン・グールドらしい音楽表現で演奏する AI システムを「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」にて初公開：
https://www.yamaha.com/ja/news_release/2019/19082901/
- ・美空ひばりの新曲ライブの実現を支援、あの歌声を当社最新の歌声合成技術「VOCALOID:AI™」で再現：
https://www.yamaha.com/ja/news_release/2019/19090302/

*その他、文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：橋本 TEL. 03-5488-6605

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや広報資料請求が可能です)